

文部省特選 教育映画祭最優秀作品賞



木簡

漢字の表現

篆書と隸書

16ミリ カラー 21分 ¥150,000

企画・製作 桜映画社

協力 日本視聴覚教育協会

監修 文部省教科調査官 加藤達成 二松学舎大学教授 堀江知彦

筑波大学教授 今井潤一 大東文化大学助教授 永井敏男

協力 大東文化大学教授 青山杉雨

対象／高校生 青年 婦人 成人

用途／学校教材（芸術科・書道）書道教室 婦人学級 文化講座

□製作スタッフ

製作……………村山和雄

脚本……………田中 徹

演出……………村山和雄

撮影……………山屋恵司

音楽……………長沢勝俊

解説……………内藤武敏

□監修のこぼ

加藤達成

漢字の成立以来、中国・日本において時代の変遷とともに今日みる文字文化、書道文化となった。これら文化のルーツを探ることは現代人の夢であり、ロマンである。

このたび、「漢字の表現—篆書と隸書—」16mm映画の出現はまことに時宜を得た快挙である。

新しい高等学校学習指導要領芸術科「書道」では、表現・鑑賞を通じて篆書と隸書を取り扱うことになった。その学習内容は生徒の発達段階に応じた臨書・創作の過程を目指し、生徒一人一人の学習

成果をねらいとしている。その習熟には映像メディアによる学習効果は言うまでもない。

「漢字の表現」のフィルムは、教育実践のニーズに応えて、新しい撮影技法により、篆書・隸書の用筆、運筆、字形等を的確に押えた優れたソフトウェアである。

本映画は学校教育、社会教育等に広く役立つもので、書の実用性、芸術性を深めるためにも表現、鑑賞、理論にわたる—篆書と隸書篇—は格好の視聴覚教材である。ここに本映画の普及とその活用をお奨めするものである。



製作

株式
会社

桜映画社

東京都渋谷区代々木1-57-1 代々木センタービル
〒151 TEL 03(3320)6311 FAX 03(3320)7666

配 給



□解説

中国で生まれた漢字は、永い歴史を経て今日私たちが使っている姿に発展した。現存する中国最古の文字は殷の時代、亀の甲羅や動物の骨に彫った甲骨文字である。殷の時代から周の時代にかけて青銅器がさかんにつくられ、これに彫られた文字を金文という。

春秋から戦国時代にかけて地方によってまちまちになっていた書体が、国々の間の交通がさかになるにつれてある程度整理されていった。これが篆書の始まりであり、大篆と呼ばれる。やがて、秦の始皇帝が中国全土を統一すると、文字統一が断行され、大篆を整理し書きやすくなった小篆という書体が確立する。篆書は、用筆法から言えば、筆の打ち込みと終りで穂先を丸める「蔵鋒」を特徴としている。左右相称或はそれに近い形で、縦画による統一ということが主になっているので縦長になりやすい。

小篆の成立につづいて、隷書の原型である古隷が生まれた。これは篆書を略した直線的で装飾性が少ない実用的な書体であったが、漢時代になると、やがて人々の美意識によって筆の勢いにリズムがつき、横画の終筆に波のうねりのような「波勢」をもち、右払の最後にひげのような飾り「波磔」をつけた八分隷が生まれる。これが今日言う隷書である。

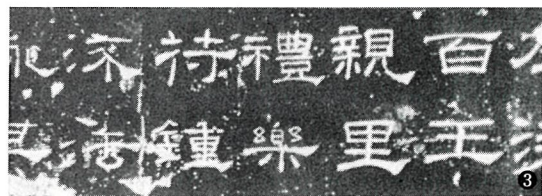
その後、書きやすく読みやすい書体草隷が出現し、次第に行書風になっていく。一方、篆書の簡略体として発展した章草がやがて草書に移る。最後に行書の筆画を整理した楷書が完成し、四世紀頃には現在使われている漢字の書体がすべて出さることになる。因に日本はそのころ弥生時代であり、日本で発見された漢字資料は五世紀頃のもの最古といわれる。

映画は、このような文字の変遷をさまざまな資料を

用いてわかりやすく説明している。特に篆書から古隷・八分隷・草隷・章草にいたる移り変りを示す敦煌出土の木簡は見どころになっている。

文字の成り立ち、その意味を学ぶことによって、書を書く楽しみは増す。過去の秀れた作品を鑑賞し、それを手本として技法や美しさを学び自分のものとし表現する—それが臨書の目的であり、創作への橋わたしである。映画の中では青山杉雨先生による隷書「曹全碑」の臨書と、今井凌雪先生による篆書の創作などの実作がとらえられているので、字形構成や用筆法などを目のあたりにできる。

また、書を学ぶことによって鑑賞する楽しみも増す。私たちのまわりをもう一度見まわしてみると、実用面からはるか遠くなってしまったように見える篆書や隷書が、今もなお生き続け、私たちの生活に潤を与えていることがわかる。



□収録漢字資料・年表

年代	中国	収録漢字資料	日本
1500			
1400	殷	—甲骨及び甲骨文字……写真①	
1300			
1200			
1100			
1000	前期		
900	西周		
800	後期	青銅器（鱗紋鼎）……写真② 青銅器（凹面紋簋蓋）	縄文
700			
600	周		
500	春秋	刀銭 布銭	
400	戦国	—石鼓及び石鼓文拓本	
300			
200	秦	—秦の権量 —泰山刻石（拓本） —鄒陽古刻石（拓本） —馬王堆発掘（添品の文字・竹簡・馬王堆帛書） —漢木簡（大英図書館収蔵敦煌出土品—篆書・隷書・古隷・八分隷・草隷・章草など BC98年～AD300年頃）	
100	前漢		
0	新		
AD 100	後漢	—漢碑篆額（北海景君碑拓本） —古隷（開通斜道刻石拓本） —八分隷（乙映碑拓本） —八分隷（西狭頌拓本） —礼器碑拓本……写真③ —三体石経	弥生
200	三国魏呉蜀		
300	西晋		
700	十六国東晋		
	唐	—正倉院・鳥毛篆書屏風	奈良

この他に日本の碑文などを収録